

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

花王株式会社 生物科学研究所

眞鍋 憲二



出身大学・卒業年度：奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 2012年 博士課程後期終了
博士論文タイトル：産業用酵素高生産に向けた枯草菌ゲノム縮小株MGB874株の解析と改良

「現在の仕事について」

◆担当職務

基盤研究（微生物制御に関する研究）

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容
京都大学大学院工学研究科の生物化学工学分野を修了後、花王株式会社に入社。社会人博士課程として奈良先端大にて博士号を取得しました。

◆そこでのやりがい

企業で行っていた自分の研究を、アカデミアの視点で見直すことができ視野を広げることができました。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力
界面科学を中心にさまざまな研究分野で高いレベルの研究がなされており、境界領域にてイノベーションを起こせる可能性がある点です。

◆現在の就職を決めた理由

学生時代に先に就職されていた先輩と相談したところ、魅力的な企業であるため、就職を進められたことがきっかけです。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

産学連携に関わる仕事で、日本の産業の発展に貢献したいと思っています。

◆挑戦したいと思っていること

機会があれば、一度海外で研究を行ってみたいです。

◆社会人として一番感動したこと

新エネルギー・産業技術総合開発機（NEDO）と進めた5年間のプロジェクトの成果を学会にて発表できたことです。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

学位取得に至るまでの道のり。指導教官や同僚・家族の支えで乗り越えることができました。

◆仕事のプロになるコツ

周囲の変化に適切に対応し、その時々で最適な行動をとる。ただし、自分の信念は貫く。

◆博士力、どこで発揮していますか？

博士号を取得する過程で身についた論理的な文書構成力およびプレゼンテーション力は、仕事をする上でかなり役に立っています。また、社外研究機関を訪問する際には、その際に得た人脈が役に立っています。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

自分の存在意義を感じ、人生を充実させるためです。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

毎日、安心して生活をしていくためです。

◆ワークライフバランスで工夫していること

休日は仕事のことを考えないようにして、毎週リフレッシュして過ごすようにしています。

◆現在の夢

犬か猫を飼いたいです。

◆将来の展望

現在は栃木に住んでいるが、出身が関西なのでいつか関西に帰りたいです。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
企業に入り、幅広い知識や人脈があることは、自分の価値の一つになると強く感じています。学生時代は研究室内に留まって研究をしていましたが、もう少し視野を広げて、異なる研究室の研究内容などにも興味をもち、人脈を広げていればよかったと思います。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

博士課程で学んでいる中では、博士号を取得するということの素晴らしさを自覚する機会が少ないかもしれません。時には異なる分野の人と交流をして、自分の状況を俯瞰的に見ることも良いと思います。学生時代は人生の中で貴重な時間であると思うので、その時間を楽しんで下さい。

連絡先 E-mail: manabe.kenji@kao.co.jp



出身大学・卒業年度：オハイオ州立大学大学院微生物学科 2009年 Ph.D.課程修了
博士論文タイトル：大腸菌におけるタンパク質合成機構とリボソーム内のtRNA-mRNA動態解析

「現在の仕事について」

◆担当職務

新規事業立上げを目指した研究開発統括。

◆**現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容**
入社3年目まではアカデミアでの研究実績を活かして微生物発酵による医療用素材の製造技術に関する基礎的な研究を行って参りました。入社4年目からは本社勤務となり、外部機関との共同研究を通じた新規分野における研究開発の取りまとめと戦略立案を行っております。

◆そこでのやりがい

まだまだ駆け出しですが、会社の将来を担う事業を一から創り出すこと、その過程で起こるさまざまな困難を社内外の方々とコミュニケーションを通じて乗り越えていくことに非常にやりがいを感じております。

◆**現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力**
研究開発への投資を惜しまず、研究員の自主性を尊重してもらえらること。

◆現在の就職を決めた理由

研究分野が近かったので具体的な仕事のイメージができたことと、大学生のころから研究開発に力を入れる会社だと聞いていたことが大きかったと思います。
あと、ポスドクを含めてアメリカで7年間過ごした後だったのでせっかく身についた英語力を日本の会社で活かしたいということもありました。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

現在従事している事業計画を成功に導いてその部門を指揮したいです。

◆挑戦したいと思っていること

海外も含めてグローバルにお客様と直接対話しながらビジネスと研究開発をつなぐ仕事に挑戦したいと考えています。

◆社会人として一番感動したこと

小さなアイデアが大きな流れになることを実感した時。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

どうしてもうまくいかず研究テーマが頓挫したことがあ

りましたが、いつまでもしがみつかずスッと諦めることも肝心だと思います。

◆仕事のプロになるコツ

自分の強みと足りないものを自己評価しながらどんな小さなことからでも学ぶこと。

◆博士力、どこで発揮していますか？

博士研究では教授と時には数時間にわたってディスカッションを繰り返しながら研究テーマを練り上げて行きました。そのような「アイデアを創って大きくしていく」テーマの進め方に大いに役立っています。

「人生について」

◆何のために働くのですか？・ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

大げさですが、何か一つでも後世に残るものを作りたいと思っています。あとは自分と家族が豊かに暮らすためにお金は大事です。

◆ワークライフバランスで工夫していること

ON/OFFの切り替えをはっきりするために家には仕事を持ち込まないようにしています。大体は家に帰ったら仕事をしたくなくなります（笑）

「後輩へ」

◆**学生時代にやっておいたらよかったと思えること**
大学生時代はサークル、大学院生になったら実験でほとんどの時間を費やしてしまいました。そのため大学の外で色々な経験を積む機会を逃してしまったと思います。学業がおろそかになってはダメですが、ボランティアやインターンなどは時間のあるうちにやっておきたかったです。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

就職や転職でなじみのない環境に自分を晒すことは最初は大変ですが、意外となんとかなるものです。またそういう時に自分が一番成長できると思います。変化を恐れず自分の目指す道を進んでください。

連絡先 E-mail: shinichiro.syoji@kyowa-kirin.co.jp